

公認弓道コーチ3  
資格概要

2019年4月5日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人全日本弓道連盟	
養成目的		国内レベルで競技者の発掘・育成にあたる指導者を養成する。	
役割		国内における広域エリア内の強化指導にあたる。また、弓道における専門的な指導能力を活かし、より高いレベルの指導を行う。	
養成講習会に係る内容	受講条件	受講年度の4月1日現在で満22歳以上で、都道府県弓道連盟が推薦し、全日本弓道連盟認定弓道錬士以上の者。	
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅲ(150h)
		専門科目	弓道専門科目(60h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅲ:20000円(税抜)／教師:56000円(税別)※別途リファレンスブック代:3000円(税抜)
		専門科目	競技団体によって別途定める
		スタートコーチ	円( )
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
		専門科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■講習会</li> <li>■検定試験</li> <li>■審査</li> <li>■免除要件</li> </ul>
	登録に係る内容	登録料(4年間)	基本登録料:10,000円
			資格別登録料:0円
初期登録手数料(初回登録時のみ):3,000円			
更新登録要件	資格登録有効期限の6か月前にまでに、最低1回は、全日本弓道連盟が定める研修又は日本スポーツ協会(都道府県スポーツ協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。		
特記事項			

公認弓道コーチ3

2019年4月5日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 種目の特性に 応じた基礎理論	①	弓道の特性	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	②	弓道の歴史			
	③	弓具の取り扱い及び競技の着装			
	④	弓道の理念について	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	⑤	弓道の倫理について			
	⑥	弓道の射技理論(構造)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑦	基本体型と射法八節	1.50 h	0.00 h	1.50 h
	⑧	弓道の練習法について			
	⑨	弓道の体カトレーニング理論	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	⑩	対象に応じた体カトレーニング			
	⑪	基本体と基本動作について	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑫	弓道のメンタル指導理論	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	⑬	弓道の競技ルールと審判法	1.50 h	4.00 h	5.50 h
	⑭	競技規則と競技審判規程			
	⑮	弓道のドーピング防止			
	⑯	競技場の設営について	1.50 h	0.00 h	1.50 h
	⑰	弓道競技会の運営のあり方			
	⑱	弓道指導の役割とその内容	1.50 h	0.00 h	1.50 h
	⑲	対象に応じた指導内容と指導技術			
	⑳	指導者の養成と選手の育成	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	㉑	弓道教室のあり方	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	㉒	遠的射法について	1.00 h	0.00 h	1.00 h
小 計			16.00 h	14.00 h	30.00 h
② 実技	①	射技演習(行射実習)	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	②	射礼演習	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	③	弓道の射技基本実習	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	④	弓道の体カトレーニング実習	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	⑤	基本体の実習	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑥	弓道の競技会運営実習	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑦	競技審判実習	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	⑧	現場における救急処置	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	小 計			10.00 h	6.00 h
③ 指導実習	①	個人指導法	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	②	集団指導法	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	③	対象に応じた指導法	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	④	射技特性の指導法	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑤	初心者及び生徒への指導法	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	⑥	指導計画の立案	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑦	指導計画の実施			
小 計			14.00 h	0.00 h	14.00 h
			40.00 h	20.00 h	60.00 h